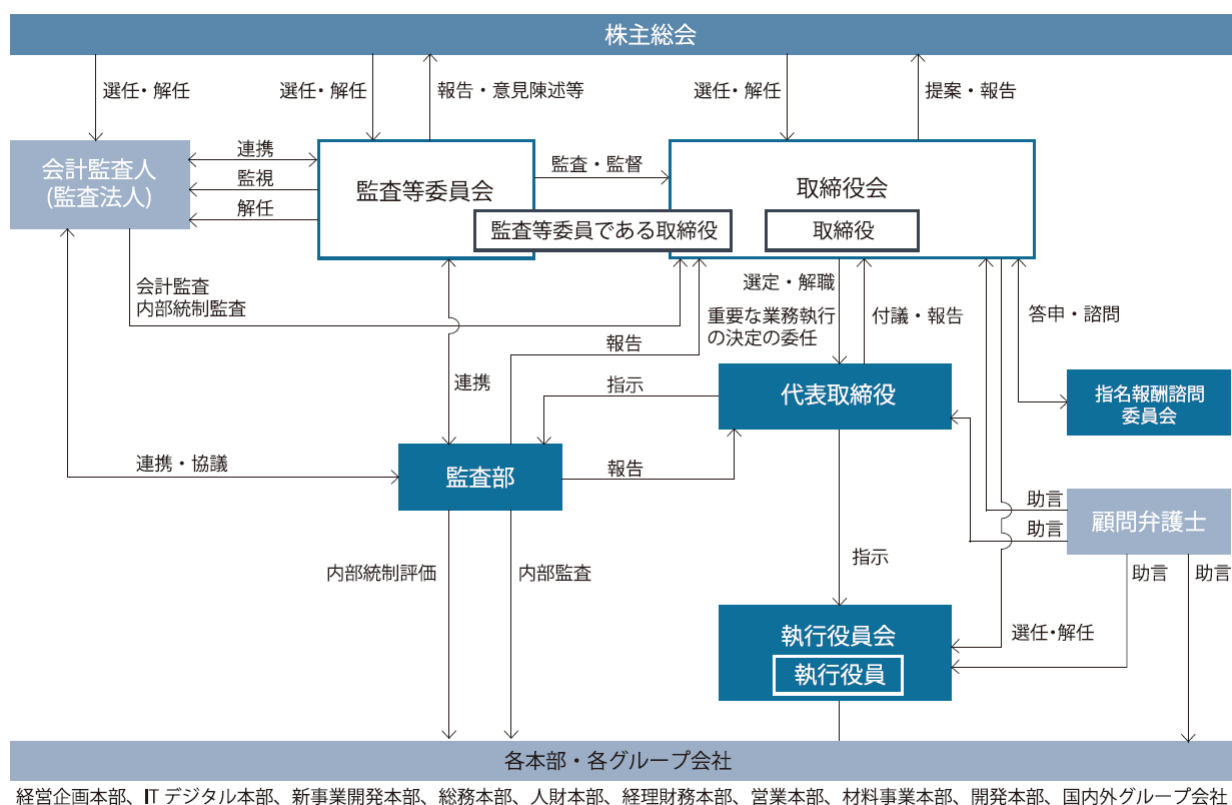


【参考資料 1】コーポレートガバナンス体制（模式図）



【参考資料 2】適時開示体制の概要

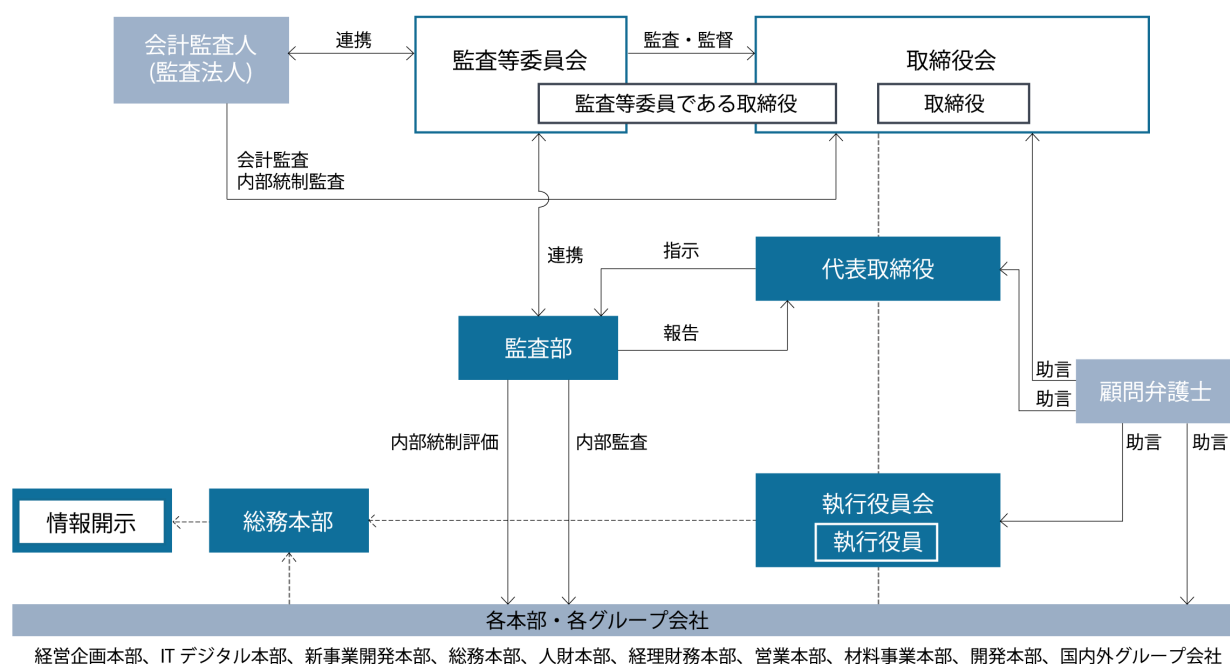
当社は、1940 年の設立以来、「自由闊達」、「技術のためまざる研鑽」、「製品の高度化」、「社会への貢献」を経営理念に企業価値向上を図るとともに、1986 年 7 月に東京証券取引所に上場以来、各種法令の遵守ならびに投資家への適時適切な会社情報の開示を行うことを基本として、迅速かつ正確な情報開示に努めております。当社では、情報取扱担当部署（広報 IR 部）を総務本部内に設置し、総務本部長が情報取扱責任者となり、また総務本部（広報 IR 部）が情報取扱担当を担い、各本部との情報の共有化ならびに一元化を図り、情報管理・チェックを含めた社内体制としております。

重要な決定事項に関しては、有価証券上場規程に定める重要事実該当するかを総務本部内にて検証し、執行役員社長を含む「執行役員会」で決議および適時開示の確認を行い、その後「取締役会」での承認を経て、遅滞なく総務本部（広報 IR 部）から開示しております。

また、発生事項や投資判断に影響を与えると思われる情報等については、総務本部内で情報取扱責任者を中心に該当本部と情報の内容等の検討を行い、各部門の当該本部長、執行役員社長の確認を経て、遅滞なく総務本部（広報 IR 部）から開示するシステムとなっております。

【当社の適時開示体制の組織図】（模式図）

※総務本部が開示資料をチェックし、適時・適切な開示を実施しております。



----- 開示の流れ